

さいたま市長定例記者会見

令和3年6月3日（木曜日）

午後2時00分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、テレビ埼玉さん、よろしくお願いいたしますし
ます。

○テレビ埼玉 6月の幹事社を務めますテレビ埼玉です。よろしくお願いいたします。
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします
ます。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。本市が対象となっているまん延防止等重点措置が
今月20日まで延長となりました。市民や事業者、医療従事者の皆様には
大変なご負担をおかけしているにもかかわらず、ご協力、ご尽力いただい
ていることに感謝申し上げます。

さて、高齢者の皆様のワクチン接種につきましては、今月13日に見沼
区役所、岩槻区役所で集団接種の先行実施を行います。続いて19日から
全区役所と高等看護学院で実施し、その後そのほかの施設での集団接種へ
順次拡大してまいります。

先行実施につきましては、本市で初めて実施される集団接種ですので、
しっかりと準備を進め、市民の皆様安心して接種していただきたいと思
います。

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

市長発表：議題1「新型コロナと戦い、市民の命とくらしを守り抜く～さいたま市緊急対策第11弾～」

まずは、議題1「新型コロナと戦い、市民の命とくらしを守り抜く～さい
たま市緊急対策第11弾～」でございます。

まず初めに、本市の新型コロナウイルス感染症の状況、また今後のワク
チン接種事業について説明します。

最新の感染状況ですが、こちらは6月1日現在で、市内の検査で陽性が
判明した方が累計で7,150名、うち調査中を含む感染経路不明者が
3,284名、同日現在の陽性率は5.4%となっております。直近1週

間の新規陽性者数につきましては175名でして、その前の週と比較しますと71名の減少となっております。

また、ここ4週間における新規陽性者数についても、週別の集計での推移を見てみますと、ピークを越え減少傾向に転じております。新規陽性者数は減少傾向となっておりますが、本市を含む埼玉県でも従来株から変異株への置き換わりが相当進んでいるということから、収束期間はこれまでより長期化することが見込まれます。

引き続き感染予防の普及啓発に努めるとともに、感染拡大を可能な限り抑えるために積極的疫学調査などの感染防止対策をしっかりと行ってまいります。

次に、市内の居住者の感染傾向について説明します。

市内在住者の状況ですが、5月29日時点ですけれども、療養中の方は364名となっております、1週間前の474名から110名減少という状況です。

直近1か月の感染状況を見ますと、感染経路が判明している方の経路の内訳では、依然として家庭内感染が約5割と非常に多く、次いで職場での感染が多い状況です。

年代別では、20歳代の最多を筆頭に、30歳から50歳代の社会経済活動の活発な方の割合が高い状況が続いております。

続きまして、高齢者の接種の進捗状況について説明します。

まず、こちらがワクチンの供給量ですが、ワクチンの供給量としては、約58万回分のワクチンを供給される見通しとなっております。また、ワクチンの接種見込数としては、7月末までに約45.2万回の接種の実施が可能と見込んでおります。

こちらを御覧いただきますと、さいたま市の65歳以上の高齢者の人数ですが、約32万人、また6月3日、今日までに約32万人分の接種券を発送します。そして、ワクチン供給量については、7月4日までに約58万回分供給されることになっております。

そして、接種見込数ですが、7月31日までに約45.2万回分の接種が見込まれております。既に75歳以上の約17.2万人分の接種クーポン券の発送が完了しておりまして、今日6月3日から65歳から74歳ま

での約14.8万人の接種クーポン券を発送予定でございます。これによって、65歳以上の全高齢者約32万人への接種クーポン券の発送が完了します。

また、ワクチン供給量は、今申し上げましたとおり、国の分配スケジュール上、既に約43万回分のワクチンを確保できておりますが、今後、15万回分のワクチンが分配されることとなっております。7月4日までに58万回分のワクチンが確保される見通しです。これは、約32万人の高齢者のうち約9割の方が2回接種を行える量となります。

接種見込数ですが、約45.2万回分というお話をしました。既に実施されている高齢者施設での施設接種、また接種実施医療機関での個別接種、各施設での集団接種を合わせて、7月末までに約45.2万回分の接種が行われる見込みとなっております。これは、約32万人の高齢者のうち約7割の方に各2回の接種を行える見込みとなっております。

今後も接種実施医療機関への働きかけ、また規模の大きな、いわゆる大規模会場での集団接種の実施を通じて、接種見込数の増加に努めていきたいと考えております。いずれにしても、接種を希望する高齢者の方へのワクチン接種は国の目標とする7月末までに完了する見込みとなっております。市民の皆様には、安心して接種の順番を待っていただきたいと思っております。

続きまして、区役所以外の集団接種の会場につきまして発表させていただきます。

まず、今回発表させていただきます会場は、さいたま市高等看護学院とさいたま市産業振興会館の2か所です。接種日につきましては、スケジュール表のとおり、2回目の接種日も含めまして、合計12日間で実施します。集団接種会場で1回目の接種された方は、原則3週間後に同会場、同時間帯で2回目の接種となりますので、予約の枠数につきましては合計1,308名分となります。

予約の開始につきましては、全ての会場について6月5日土曜日の午前9時からとなっております。予約は、ウェブもしくはコロナワクチンコールセンターに電話していただくようお願いします。集団接種会場への直接のお問合せは、お控えくださいますようお願いいたします。その他の会場につ

きましては、市民の皆様が一日でも早く予約できるよう、しっかりと準備を進めております。

また、市民の皆様により多くの接種機会を提供するため、大規模な集団接種会場についても実施する準備を進めております。6月中の開始を目指しておりますので、調整のついた会場から順次発表させていただきたいと思っております。

また、市の薬剤師会の皆様にも予診票の記載方法など、各薬剤師会の薬局のほうでも相談窓口としてご協力いただいております。また、区役所での集団接種会場でもご協力いただいております。地域の医療機関の皆様をはじめ、こうした多くの方々にご協力いただいていることに改めて感謝と御礼を申し上げます。

次に、まん延防止等重点措置の適用から1か月半が経過しました。これまで市民の皆様や飲食店等の事業者の皆様には、不要不急の外出自粛や営業時間の短縮、酒類提供の制限などにご協力いただき、感謝申し上げます。

政府は、5月28日、埼玉県等に対して、まん延防止等重点措置を実施すべき期間を6月20日まで延長することを決定しました。県は、引き続きさいたま市等に対して現在行っている措置等継続することにしました。

本市の新規陽性者数は、緩やかな減少傾向にございますが、依然として高い水準にございます。また、埼玉県内は通常のウイルスよりも感染力が強いと言われております変異ウイルスの陽性率が7割を超えていることから、今後の状況を注視する必要があります。市民や事業者の皆様には大変ご不便、ご苦勞をおかけいたしますが、命を守る切り札になりますワクチン接種を高齢者の方へ実施しているところです。皆様には、ご自身や大切な方の健康や命を守るために、引き続き基本的な感染防止策を徹底していただくようご協力をお願いいたします。

それでは、さいたま市緊急対策第11弾について説明します。

本市では、新型コロナウイルスの感染拡大に対して、事態の長期化、またウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応していくため、①感染の再拡大に対応可能な検査医療体制の整備とワクチン接種の円滑な実施、②ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応したデジタルトランスフォーメーションの推進と投資の促進、③感染拡大防止と新たな生活スタイルへの対応、

④、市民生活の下支えや事業継続、雇用維持のための事業者支援、経済活動の回復に向けた消費喚起策の4つの柱で重点的に取り組んでまいりました。

今回は、今申し上げました①と③と④の柱の下に、新型コロナウイルスワクチン接種の16歳以上60歳未満の方の集団接種体制整備をはじめ、御覧のとおり支援策に取り組んでまいります。

まず初めに、取組1「新型コロナウイルスワクチン接種事業」につきまして、現在高齢者のワクチン接種を実施しておりますが、今後、次のフェーズ、基礎疾患を有する方、また高齢者施設の従事者、また60歳から64歳を経て60歳未満の方が始まる時期についても切れ目なく集団接種が行えるよう、集団接種に係る経費を補正するものです。実施場所は、現在、高齢者接種で実施しております区役所等を想定し積算しています。これは、24万4,600接種分で約12万2,000人分を見込んでおります。予算額は24億5,339万8,000円です。

続きまして、取組2「無料低額宿泊所の個室化改修費の補助」についてです。新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止する観点から、多床室の個室化改修等を行う無料低額宿泊所に対して補助金を交付するものです。補助率は4分の3、実施予定数は2件です。

工事内容は、簡易間仕切り等を撤去して、天井まで到達する壁を設置し、個室化を図るものです。多床室を完全個室化することで、無料低額宿泊所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止できるように支援してまいります。予算額としては1,188万3,000円です。

次に、取組3「成人式等における感染症対策」についてです。

まず、成人式につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、さいたまスーパーアリーナを会場として成人の日を開催する成人式を入替え制にする必要経費を補正するものです。対象者数の見込みとして、成人式対象者は1万3,000名程度、その家族が4,500名程度として約1万7,500名を予定しております。予算額は1,545万円です。

また、再会の機会についてですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりまして、今年の1月の成人式がインターネットによる配信になりました。会場での開催ができなかったことを受けまして、この対象者同士の

再会のきっかけとなる機会を設けるためのものです。予算額は2,603万1,000円です。

次に、取組4「子育て世帯生活支援特別給付金」についてです。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し給付金を支給するものです。

既に4月の専決で予算措置をしておりますが、国の通知に基づきまして以下の方も給付金の対象とします。追加対象世帯は約3,150世帯です。対象者は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度住民税均等割が非課税となる水準まで家計が急変した者、これは申請が必要となりますけれども、こういった方々を対象としております。また、対象児童ですが、令和3年4月以降令和4年2月末までに生まれる新生児で、来年2月末までに生まれる方も含まれます。4月専決で予算措置済みの対象者は約2万世帯です。

支給時期は、①の対象につきましては令和3年4月から支給を既に開始しております。また、②の対象者のうち児童手当受給者等は令和3年6月下旬から支給を開始し、新たに予算措置された対象につきましては審査後速やかに支給してまいります。予算額は2億5,000万円となっております。

続きまして、取組5「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免の実施」についてです。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対して、国民健康保険税を減免します。対象世帯は、新型コロナウイルス感染症により世帯の主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯、また新型コロナウイルス感染症の影響により世帯の主たる生計維持者の令和3年の収入が減少し、一定の要件を満たす世帯となります。

また、減免対象となる国民健康保険税は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に納期限が設定された令和3年度分の国民健康保険税となります。また、減免の割合ですが、国民健康保険税額の全額免除、または対象となる国民健康保険税額の10割減額から2割減額までです。予算額は5,449万6,000円です。

以上、今回の緊急対策第11弾の予算は約31億3,000万円です。

昨年度から累計しますと約2,166億8,000万円となります。厳しい状況が続いておりますが、引き続き、きめ細やかな支援を展開してまいりたいと考えております。

市長発表：議題2「令和3年さいたま市議会6月定例会提出議案について」

続きまして、議題2「令和3年さいたま市議会6月定例会提出議案」について説明します。

令和3年さいたま市議会6月定例会を6月9日に開会します。提案の議案数は19件です。内訳としては、専決処分報告議案が2件、予算議案が3件、そして条例議案が9件、一般議案が3件、道路議案が2件となります。

新型コロナウイルス感染症への対応として、予算議案で6件、本日の議題1と同様です。専決処分報告議案及び予算議案から説明します。

まず、専決処分報告議案については、一般会計補正予算で1件、補正額としては15億504万6,000円となります。また、補正予算議案は一般会計で31億5,808万1,000円、また特別会計で881万7,000円、合計で31億6,689万8,000円です。

まず、補正予算の特徴を説明します。都心地区のまちづくり・本庁舎整備及び現庁舎地利活用に係る検討として、(1)都心整備推進事業として309万7,000円を計上しています。都心地区におけるまちづくりビジョンの検討に向けて、都心が目指すべきまちの将来像などに関する有識者からの意見を聴取するものです。これにより、浦和駅周辺などのまちづくりビジョンの検討に向けた取組を推進できるものと考えております。

次に、(2)政策推進事務事業で、本庁舎整備及び現庁舎地の利活用に係る基本構想の策定を行うものです。これにより、本庁舎整備及び現庁舎地の利活用に係る基本構想を策定し、取組を推進できるものと考えております。予算額は996万6,000円です。

続きまして、2、持続可能で魅力ある都市農業の振興(1)農業政策推進事業として952万6,000円を計上しています。都市農業の充実を図るため、農業交流施設の整備に向けた検討を実施してまいります。これにより、農業交流施設の整備に向けた詳細な検討が図られるものと考えて

おります。

続きまして、3、公正かつ適正な事務執行（1）内部統制推進事業として79万8,000円を計上しています。これは、生活保護業務による不適正な事務処理を受けて実施した市の内部調査による報告内容に対して、客観的かつ公正な立場からの検証及び再発防止の提言を行うため、第三者委員会を設置するものです。これにより、不適正な事務処理の再発防止に向けた取組が一層促進されるものと期待しております。

次に、主な条例議案について説明します。

まず、さいたま市生活保護業務における不適正事務処理に関する第三者委員会条例の制定です。設置目的ですが、生活保護業務における不適正な事務処理を受けて実施した市の内部調査による報告内容の検証及び再発防止の提言を行うため、附属機関を設置するものです。所掌事務は、市の内部調査による報告内容の検証とその検証を踏まえた再発防止の提言などです。委員会は、委員5名をもって組織し、委員は学識経験者とするものです。

次に、もう一つの主な条例議案について説明します。さいたま市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定でございます。行政手続のオンライン化を進めるに当たりまして、個別条例の規定によらず、規則等の定めで手続のオンライン化を可能とするための通則的な条例であります本条例の改正を行うことにより、各手続に係る個別条例等の規定が制度面の障壁とならないようにするものです。

私からの説明は以上です。

議題1に関する質問

○テレビ埼玉

ありがとうございました。

市長からの説明について、マイクを使用して質問をお願いします。

幹事社から1点。先ほど話があったまん延防止等重点措置の適用期限が今月20日まで再延長されたことについて、市長のもう一度受け止めをお願いします。

○市長

まず、政府が5月28日、埼玉県等に対して、まん延防止等重点措置を実施すべき期間を6月20日まで延長することを決定し、県は引き続き、さいたま市等に対して現在行っている措置等を継続することとされました。

本市の新規感染者数につきましては、減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあります。

また、埼玉県内の変異ウイルス陽性率は全体の7割を超えております。変異ウイルスは、従来ウイルスよりも感染力が強いと言われていたことから、今手を緩めると感染者数は再び増加に転じる可能性があり、今後も状況を注視していく必要があると考えています。

一人ひとりの命を守る切り札となる新型コロナウイルスワクチン接種については、接種を希望する高齢者の皆様が7月末までに2回目の接種が終了できるよう、この期間に区役所をはじめ各集団接種会場での接種に向け準備を進めてまいりたいと考えております。ご自身や大切な方の健康や命を守るために、皆様にはもうしばらくご苦勞をおかけしますが、どうぞご理解、ご協力をお願いします。

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

変異株は7割を超えるということなんですけれども、これは具体的にはイギリス株とかインド株とかありますけれども、その数値は出ていのでしょうか。

○ 事務局

変異株につきましては、埼玉県が毎週一括してご報告をさせていただいているところでございます。よろしく願いいたします。

○ 埼玉新聞

成人式なんですけれども、オンライン開催されたときに実行委員会の方ができれば再会の機会を設けてほしいというふうに訴えましたけれども、それを受けての措置だと思んですけれども、そのことに対しての市長の思いというか、ご意見ををお願いします。

○ 市長

コロナ禍ということで、本来でしたら、さいたまスーパーアリーナで成人の皆様、そしてご家族の皆様がそろって式典に出席し、人生の記念すべきこの節目にみんなでお祝いをするところでしたが、コロナ禍ということによってリモートでの開催になりました。本当に私たちとしては残念な思いでなりません。

ただ、そのときにリモートだけでは解決しなかった問題として、皆様が再会できる、こういった機会も成人式の貴重な役割としてございましたので、この再会できる機会を改めて設定したいということで、当日成人の皆様から大変切なる思いでご要望いただきましたので、私たちとしてもそれ

を何とか実現したいということで、担当所管を含めて検討してきたところです。ぜひこういった機会をまた活用していただいて、今年1月に再会ができなかった皆様と再会していただきたいと思っております。

そういった再会の機会が少し遅れてしまったことについては、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

○ 埼玉新聞 再会の機会の日程がまだ決まっていなそうなんですけれども、どれぐらいを目途にと考えていらっしゃいますか。

○ 市長 今、早急に詰めている段階でございますので、できるだけ早くお知らせしたい。いろいろな準備等、来る方々にもあると思いますので、できるだけ早くお知らせができればと思っております。どのタイミングでというのは、今いろいろ想定していますけれども、調整が済み次第、発表させていただくことになると思います。

○ 埼玉新聞 ワクチン接種なんですけれども、私どもの会社にもさいたま市に電話してもつながらないという電話が何件もありまして、特に接種券が届いていない60代後半の方とか70代の方からの電話が多くて、何とかしてくれというふうなお電話があるんですけれども、この辺の改善というのは検討されているのでしょうか。

○ 市長 冒頭でも少し説明しましたが、まず65歳から74歳の層については、今日約15万人弱の方々への発送をしたところですので、到着までいましてばらくお待ちいただきたいと思っております。またあわせて、電話のコールセンターについて苦情をお寄せいただいているという状況は私どもも認識しておりますので、既にこれも何度かお話ししましたが、当初は166回線で行っていましたが、現時点では200回線まで増やしています。これは既に実施しましたので、改善されてくるものと思っております。

またあわせて、今日発表したものの中で、できるだけ私たちが今後の予定も含めて皆さんにお知らせして、この7月末までには65歳以上の皆さんがしっかり打てるんだという情報をとにかくできるだけ今日、発信したいということで準備を進めてきて、具体的な数値も含めて皆様にお知らせしたところです。これをできるだけ65歳以上の皆さんにしっかりと届けられるようにさせていただき、安心感とともに予約をしていただくという形に変えていければと思っております。

議題 2 に関する質問

- 埼玉新聞 市庁舎の関係で、基本構想と浦和駅周辺のまちづくりの有識者会議についての市長の見解というか、どういうものを期待されているか、お願いします。
- 市長 2月議会の際に、市としての市庁舎に対する考え方、方向性について示させていただきました。その中で、この跡地の問題、あるいは跡地も含めたまちづくりの問題も併せてしっかりと提示していくことが必要であるという大変強い認識を持ったところでして、そのための予算を計上させていただいたところでは、単にこの市役所が移転するというだけではなくて、移転することでまちづくりにどういうプラスの効果が働くのかについて、ぜひ市民の皆様にも併せてご理解いただきたいと考えております。そのための予算と考えております。そういったことも含めて市民の皆様にもしっかりと説明し、ご理解いただくようにしていきたいと考えております。
- 埼玉新聞 有識者会議の構成のメンバーは、何人とか、どういった方がというのは予定されているのでしょうか。
- 事務局 有識者は今9名を予定しておりまして、市長を含む10名で構成したいと考えております。
- 埼玉新聞 どういった方か。
- 市長 分野は、文化、教育、スポーツ、都市経営、経営学、まちづくりなどの分野と考えております。あと、地元の商業関係の方々にも入っていただく方向で検討しております。
- 東京新聞 東京新聞です。よろしく申し上げます。
先ほど市長が6月中にも大規模接種も考えているということでお話しになりましたが、それはこれまでに発表されている例えばホテルであるとか競馬場とはまた別ということなんでしょうか。
- 市長 別なものもありますし、また規模を拡大、同じ場所で拡大するというような場所も出てくるかもしれません。
- 東京新聞 考え方なんですけど、現状でも7月末までに希望する65歳以上の方の接種は終わるということなんですけど、改めて規模を大きくすることなのかなと思うのですが、どういう必要性を感じられてのことなのか。

- 市 長 ワクチンを早く打ってもらおうということは、1つは市民の皆さんの安心感もありますし、もう一つは経済へのプラスの影響もすごく大きいものと思っています。ですから、65歳以上の32万人のためだけの接種ではなくて、そのあと残り100万人という市民、12歳以下といった若い世代は除きますけれども、残りかなり多くの方々がワクチンを待っている状況ですので、とにかく一日も早く65歳以上の方々を予定よりもできれば早く打ち終わると、そしてその次の世代にも積極的にこのワクチンを接種していくという考え方の下に大幅に増強したということです。
- 東京新聞 どういう場所を考えていらっしゃるのでしょうか。
- 市 長 大規模に接種ができる場所です。
- 東京新聞 例えば一番最初の段階ですと、さいたまスーパーアリーナとか、あとはサッカー場、あのレッズのところの、あそこなんかも出ていましたけれども、屋外とか屋内とか体育館とか、どういう種類をお考えなんでしょう。
- 市 長 屋内も屋外も含めて、やはり大規模に接種ができる環境があるところ、しかも早いタイミングでそれをきっちり押さえられて準備ができる場所の中で選定していると。あと、できれば交通の利便性も比較的いいところを選定しながら、今、準備を進めております。
- 東京新聞 いつ頃発表できそうな感じですか。
- 市 長 そう遠くはないうちに発表できると考えておりますが、まだ詳細を詰めているところもありますので、できるだけ早く発表したいと思います。
- 日本経済新聞 日経新聞です。
今の大规模接種会場の関連なんですけれども、今まで集団接種ですと基本的に土日中心のケースが多かったと思うんですが、今考えていらっしゃるものは例えば平日も検討していらっしゃるのかということと、あと大規模というのは、1日当たりこれまで区役所等ですと200人から300人ぐらいだったかと思うんですけれども、1日当たり何人ぐらいをイメージしていらっしゃるのか、お考えをお聞かせください。
- 市 長 基本的には毎日打てることを想定しています。もしかしたら1日ぐらい休みになるかもしれませんが、平日も土日も含めて検討しています。大規模ですので、具体的な数値はまだ申し上げられませんが、それなりの数で、現在調整中です。

- 日本経済新聞 あと、接種される方の数が増えると、確保するお医者さんだったり看護師さんの確保もなかなか難しいと思うんですけども、その辺りはどのように調整されていくのか教えてください。
- 市 長 その辺も関係機関等々にも今話をして調整しているところですので、その辺は詳細な目途が立った段階でお知らせします。
- 朝日新聞 朝日新聞です。よろしくお願いします。
- 今の大規模接種についてなんですけれども、今、県のほうで浦和の合同庁舎でやられています。市のほうで想定されているのは、その同等規模ぐらいなのか、もしくはさらに一度に接種できるようなところなのか、どれぐらいになるのでしょうか。
- 市 長 もう少し大きなものを想定しています。
- 朝日新聞 あと、場所が県は浦和合同庁舎ですけども、今、市長が想定されているのはさいたま市内のどの辺を想定されているのでしょうか。
- 市 長 まだ検討段階で、できれば複数箇所とっておりますが、発表できる段階ではありません。
- 朝日新聞 今、大規模を複数箇所市内に、2か所目、3か所目ぐらいを想定しているということですか。
- 市 長 そんなにたくさんの場所では、打ち手の問題もありますからできませんけれども。
- 朝日新聞 2か所ぐらい。
- 市 長 可能であれば。そういうことも念頭に置いて、今調整をしていると。現状として、まだ調整をしている段階ですので、何か所ということはちょっと申し上げられませんけれども、検討しているということです。
- 朝日新聞 あと、もちろんこれは大規模接種会場を想定されているというのは、高齢者だけではなく、その後のことをお考えだと思うんです。今回補正予算で16歳から65歳までの接種の予算立てされました。実際これ想定ではいつぐらいから64歳以下の方が接種できると、していこうと想定されていますか。
- 市 長 （大規模接種会場について）6月中には開始をしたいと思っています。
- 朝日新聞 実際64歳以下の方の接種っていつぐらいから可能だと。
- 市 長 これは、まだどのタイミングかは明確に申し上げられませんけれども、

今後の接種の進捗状況によってくるとは思いますが、現状の数値で7月末までに何とか高齢者の7割以上打っていただけるだろうという数値が出ておりますので、少しそれより前倒しする形で実施できるのではないかと考えております。

○ 毎日新聞 毎日新聞です。2つお願いします。
まず1つが、改めて今回の補正予算の狙いは何か、一言でまとめますとどういったところになりますか。

○ 市長 先ほども全体の枠で申し上げてきましたけれども、ずっとこれまで新型コロナウイルスについては、4つの柱立てで私たちは対策をやってきました。

そして、それぞれその都度の状況を鑑みながら、不足していること、国や県でカバーしきれないこと、あるいは上乘せしたほうがより効果が上がることなどを含めて、市としてやるべきことという考えでやってきたつもりです。

今回については、1つは子育て世代のところについて言うと、国の示した内容について少し4月の専決でやったところ以外の幅広いところがありましたので、それを補正するということが1つと、あとこれから64歳以下の方々のワクチンを接種する体制もしっかりと整備していこうと、早めに計上させていただいたところですが、ただ、今の大規模の話などもありますので、その部分については今後また、予算案として後日また提出することになると思います。

議題2に関する質問

○ 毎日新聞 それから、市庁舎移転の基本構想の策定に関連して伺いたいのですけれども、具体的には今後この委託先は検討することだとは思いますが、可能性として、まず新しい庁舎に関して一部の自治体が行っているように、マンションだったりオフィスだったりを入れて、実質的にかなり安くするような可能性というのはあるものなんでしょうか。

○ 市長 これは、審議会答申においても、事業費あるいは整備手法の中で、PFIやPPPなどの手法も活用して、支出を抑えていくことも盛り込まれていたと記憶しております。基本的にはそういったことも踏まえながら、整備していくことが必要だと考えておりますので、どういう形で実際に整備するかというのは、今後の委託調査の中で決めていくことになっていきます。

ども、基本的にはそういった視点を十分に織り交ぜながら整備することになると思います。

○ 毎日新聞 そういった視点というのは、民間施設も建物の中に入れる可能性もあると。

○ 市 長 PPPといった手法も取り入れながら、事業費を抑えていく工夫も併せてしていくということです。

その中で、当然どういった施設になるのかとか、その辺はまだ分かりませんけれども、そういったことも含めて検討することになります。

○ 毎日新聞 それから、こちらの跡地のほうの話なのですが、これも可能性として、例えば今さいたま市で足りない小中学校などを入れるようなこともあり得るものなんでしょうか。

○ 市 長 これも、まだこれから検討となりますので、現時点では、いろいろな可能性があると思っておりますが、この間も申し上げましたとおり、県と、県の中心であるという部分と、それから文教都市としての、まさにシンボリックな場所にしていこうというのが、その大きな方向性であると考えておりますので、その中で考えられるものになると思います。

ですから、限定したものではなくて、その中で必要であり、そして皆さんがその中で最もふさわしいと思われるものが建てられてくることとなりますので、それは今後の検討になると思います。

○ 毎日新聞 この予算づけした基本構想で検討するのでしょうか、可能性としてはあるということなんですか。あまり考えにくいところなんでしょうか。

○ 市 長 現状としては、あるともないとも申し上げられないと思います。基本的には、そういった考え方の方針の中で検討していくということです。

○ 毎日新聞 最後に、それと関連して、文教都市としてふさわしいとなった場合に、小中学校ではなくて特別支援学校をつくるとなると、より可能性はなくなってくるようなところなんでしょうか。

○ 市 長 今のご質問のお答えも、今先ほど申し上げたお答えと全く同じでございます。

議題 1 に関する質問

○ 読売新聞 読売新聞です。

先ほどの大規模な接種施設の関係でちょっと伺いたいんですけども、多分、先ほどのご回答の中で、県が要は北浦和ですか、その合同庁舎のほうに置いている大規模接種施設よりも少し大きい規模を、今、想定しているとおっしゃっていたと思うのですが、そういう規模感を考えていらっしゃる理由を伺えますでしょうか。

- 市長 1つは、運営する人員もできるだけ効果的に、打ち手が必ずしも多くはないので、それをより効果を上げてやっていくためにはどうしたらいいかということですとずっと検討しておりまして、その中で小さな規模のところも、位置関係で近くにお医者さんがないエリアなんかは当然必要になりますけれども、そうではない部分でいうとできるだけ、大きな規模でやったほうが効率的に多くの人数に接種ができるのではないかという考え方の中で、大規模接種会場というものを設けようと考えているところです。
- 読売新聞 そうしますと、その分ほかの小さいところいっぱい増やすよりは、大きいところをどんというお考えかと思うんですけども、そうすると逆に集約というような形になるのでしょうか。
- 市長 今のところ、今まで予定しているところについてはそのまま進めていくつもりで、また個別接種については今までの件数よりも、皆さん一定程度慣れてくると、少し人数を増やしても大丈夫ではないかということも、ご感想として寄せていただいていますので、さらに個別接種も増やしていければと思っていますし、併せてそういった大規模接種もやっていくことで、どちらかという集約していくというよりは、なるべく早くワクチンをしっかり接種していくということに重きを置いていきたいと考えております。
ただ、状況によって、いつまでやるかということが若干変化することはありますけれども、まず当面は65歳以上を速やかに接種する。それから、それ以外の年代についても速やかに取りかかれるようにしていくということを前提にしながらやっていくことで考えております。
- 読売新聞 そうしますと、お医者さんの確保というのを先ほど課題に挙げておられましたけれども、大規模施設についてはどういったところから医師のほう、医療医師なり看護師なりを確保というのを考えているのでしょうか。
- 事務局 まだ、現在、公表前で調整中でございますので、またしかるべき時期が来ましたら皆さん方にお話ししたいと思っております。

- 時事通信 時事通信です。
- 大規模接種会場の件なのですけれども、確認なんですけれども、6月中にも大規模接種会場での接種を開始したい、そういうお考えでよろしいでしょうか。
- 市長 はい。
- 時事通信 これは上旬、中旬、下旬あたり、示せるものはありますでしょうか。
- 市長 上旬は、もう実質不可能だと思いますが、できるだけ早いタイミングと
思っていますけれども、下旬ぐらいになると思います。できるだけ少しそれも前倒しでできないかということの調整の中でやっておりますので、現時点では6月中という言い方しかできません。
- 時事通信 あと、大規模接種会場の問題として、予約で二重三重の予約をしてしまう方がいらっしゃるということで問題として挙げられていますが、そこに関してのお考えをお聞かせください。
- 市長 それは、今回の市の接種会場について。
- 時事通信 そうです。市が今回大規模接種会場を設置するというので。
- 市長 今回の大規模接種会場については、現状としてシステムが一部入りにくくなっている状況もあるので、別のシステムを活用しながら実施する方向で考えています。それらはきちんと接種率等に反映されるような形のことも想定しながら対応しているところです。
- また、これは市の大規模接種会場に限らず、国、県の中で接種された方々についても、キャンセル等についてはできるだけご連絡いただいて、それについて反映していくことにしています。県からは、打った方々のデータについては提供いただけると聞いておりますし、国の方は、今後、多分そういったものも提供いただけることになると思いますけれども。
- 時事通信 別のシステムを検討されているというお話でしたけれども、それはどういったものになるのでしょうか。
- 市長 基本的には予約システムです。
- 時事通信 予約システムを、市独自で大規模接種会場に関して構築されるということ。
- 市長 既存のものを活用して、ただ1つのものに集中し過ぎると、例えば今日、発送している層は約15万人近い方々を対象としていますから、かなり多

くの方々に接種券が行くようになってくるわけで、これまでは5万人ごとに区分しながら発送してきたわけですが、今後は一度にそういったシステムにアクセスする機会になる可能性もあるので、できるだけそういったリスクを減らすという考え方の下に、大規模については現在使っているものとは別の形でやっていこうと考えております。

○ 埼玉新聞 区役所と公民館、図書館で予約の補助とかありますけれども、この相談件数とかの数字というのはございますか。

○ 市長 区役所と公民館等と図書館。それは、後ほど分かる範囲で。

(会見後資料提供：新型コロナウイルスワクチン接種予約に関する相談窓口受付件数 10区役所：8,028件、生涯学習総合センター：28件、公民館10館450件、図書館10館614件)

議題2に関する質問

○ 埼玉新聞 あと市庁舎の関係で、浦和のまちづくりについては市民の方から声を聞きたいというお話でしたけれども、これはこの有識者会議を指すのでしょうか、それともまた別に市民の声を聞くのでしょうか。

○ 事務局 基本的には、有識者とは別に市民の意見を聞いてまいりたいと考えております。

議題1に関する質問

○ 埼玉新聞 あと最後に子育て、低所得向けの子育ての関係で、国は5万円ということですが、ほかの自治体では、自治体によっては上乗せしていますけれども、それについてはさいたま市としては検討されないのでしょうか。

○ 市長 現時点では、こういう形でやりますが、今後状況を見ながら対応していくことになると思います。

○ 読売新聞 読売新聞です。

大規模接種施設の関係でちょっと確認なんですけれども、現在想定しているものは既存の施設とかの使用を検討しているのでしょうか、それとも何か別の形なのでしょうか。

○ 市長 もうじき発表したいと思いますので、もう少しお待ちください。

○ 朝日新聞 朝日新聞です。

先ほど大規模接種で、別の予約システムをつくられるということだったので、活用されるということなんですが、電話対応についても

今200回線ですけど、これまた増やしていかれる想定ですか。

- 市長 そこを増やすというよりは、今度、大規模接種をやるとすると、どちらかという、いわゆる高齢者の中でも若い層の方々になりますので、コンピューターを使える方々もかなり多いので、できるだけウェブのほうで対応していただけるようにはしてもらいたいと思っておりますけれども、コールセンターの問題などについては、現在調整中です。

議題2に関する質問

- 朝日新聞 あと、生活保護の問題について教えてください。
今回、第三者委員会が設置される予定になったんですが、これまで市がプロジェクトチームで調査してきた以上の調査を進めるということでしょうか。それとも、さらにまた踏み込んだ形で調査するということなのでしょうか。
- 市長 先ほども申し上げましたとおり、プロジェクトチームで調査をしてきた内容について検証していただき、かつ再発防止のためのご提言をいただくことになると思います。
その中身については、第三者委員会の中でご議論いただいて、その中で判断するのか、あるいはさらに調査をするのかは、その中で判断されるものだと理解しています。
- 朝日新聞 では、さらに調査をするかも、元職員だとか、受給者の方にもまだ聞き取りとかをまた始める可能性もあるということ。
- 市長 その辺は、第三者委員会のほうで判断すべきものだと理解しております。
- 朝日新聞 あと、以前の発表で、今回、不正支出された約1,300万円について、元職員の方はなかなか支払い能力がないということでお話あったと思うんですが、今後は第三者委員会で原因調査を進めるんですが、お金の公金が出た約1,300万円について、今後どういうふうに扱っていかれるのか、どう補填するのかというのはどうお考えでしょうか。
- 市長 今回の処分の対象となった職員からは、先日、被害金額についての支払いがございました。
- 朝日新聞 それで弁済が済んだということ。
- 市長 そうです。もちろんそれ以外に、いわゆる利息分を再度請求することになりますが、そういった対応は既になされたということです。

全額というのは、いわゆる不正支出の分だけです。

一定の期間がたっていますから、その利息分もさらに支払いを求めることとなりますけれども、既に請求している被害相当分については支払いがあったということです。

その他：東京2020大会について

○ 読売新聞

読売新聞です。

ちょっと最後に1点なんですけれども、東京オリンピック、市内にも会場があるかと思うんですけれども、先日政府の有識者のほうの尾身会長が、ちょっとこういう状況でやるのは普通はないんじゃないかという発言をしていましたけれども、市長はどのようにお考えになるか、お考えを伺えますでしょうか。市長としてのお考えを伺えれば。

○ 市長

これは、前回もお答えしたと思いますが、今、私たちとしては、バスケットボールとサッカーの競技会場がある市ですので、現在それが安全に遂行されるように、その準備に全力を挙げているところです。

今後、そのしかるべきタイミングで、観客についてもどういう形で対応されるのかが発表されるだろうと思っております。私たちとしては、とにかく市民の命と安全を守る、それから来ていただいた方々、観客、それから選手の皆さんの安全を守るということを最優先としながらオリンピックをやっていきたいと思っております。

幹事社質問：ヤングケアラーについての市長の認識と実態調査を踏まえた今後の支援について

○ テレビ埼玉

それでは、幹事社として代表質問させていただきます。

さいたま市は今年、市立学校の生徒、全生徒を対象に、ヤングケアラーについて調査を実施されると思いますが、独自に調査を実施して実態の把握を進めていくということで、かなり重要視されていると思うんですけれども、市長としてその問題をどう認識しているか、また今後の結果を受けてどう支援を進めていくか、考えがありましたら教えてください。

○ 市長

それでは、幹事社質問にお答えします。

子どもが夢や希望に向かって様々な経験を積む大切な時期に、本来大人が担うべき家事や、家族の世話などを子どもが日常的に行っていることによって、勉強に割く時間が取れなかったり、部活動ができないなど、子

も自身がやりたいことができない状態は望ましくないと認識しております。

教育委員会では、今、市立中・高等学校、それから中等教育学校の生徒を対象に調査を行って、いわゆるヤングケアラーと思われる子どもたちの実態をより正確に把握し、まずは教職員が相談相手になること、そして必要に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、こういった2つの専門職が学校にそれぞれおりますので、そこと連携を図りながら、個別の状況に合わせて支援を行うと聞いております。

調査結果については、教育委員会が9月頃公表する予定と聞いておりますが、本市の状況についてよく認識し、また分析を行っていくことが重要だと考えております。

これまでさいたま市としては、介護者カフェなどをやってきました。介護を抱えた方が孤立しないということが非常に大切であると考えており、当事者には適切な情報提供をしたり、あるいは相談窓口を拡充したり、様々な法令と制度活用、特に若い世代の子どもたちにとっては、どういう制度があってそれをサポートしてくれるのかということが分からないケースも多々あると思います。

そういう意味では、特にヤングケアラーへの対策は、しっかりと充実を図っていきたいと考えておりますし、また併せてケアラーの問題について、ヤングケアラーの問題が新たに指摘をされているところですが、これまでの高齢者介護、あるいは障害者介護、老老介護であったり、ダブルケアであったり、介護者をめぐっては様々な、これまでの制度だけでは十分に解決ができない、対応できなかった課題があると考えておりますので、基礎自治体として、さいたま市の現状を十分に把握した上で、それに対応した条例であったり、それに対応した施策の拡充を図っていきたいと考えております。

ヤングケアラーの問題については、特に大きな課題であると考えておりますので、子どもたちの夢や希望を持ち続けてもらえるような環境を、私たち行政としてもしっかり取り組みたいと思います。

○テレビ埼玉

代表質問の説明に関して質問がある方はお願いします。

それでは、ほかの質問がある方は質問をお願いします。

その他：東京2020大会について

○日本経済新聞

日経新聞です。

先ほど東京五輪の話が出ましたが、その関連で、さいたま市が今キャンプ地としてオランダの空手の選手のキャンプ地ということになっているかと思えます。県内のほかの自治体ですと、選手団の相手国のほうから中止するというお知らせがあったり、逆に市のほうから、市民だったり選手団の安全の観点から中止を申し出るといった、そういうケースもあると聞いています。この市内でのキャンプ地としての活用について、今市長どのようにお考えなのかお聞かせください。

○市長

さいたま市は事前キャンプ地ということで、オランダの空手競技の事前キャンプ、ホストタウン交流を進めてきたところですが、現時点でこのオランダの空手については出場枠をまだ得ていない状況がございます。これから、6月の行われるパリ大会で出場が決定するので、それを受けて話をしていくことになると思います。

出場枠を獲得した場合には、安全面については内閣官房から示されておりますホストタウン等における選手等受入れマニュアル作成の手引等に基づいて、オランダ側と情報共有をしながら、どういう形で受入れができるのかということも併せて協議していきたいと思っています。

やはり当初考えていたものと同じようには、なかなかならないだろうと思っておりますけれども、まだ出場権が明白でない段階ですので、情報交換は既に何度か担当レベルではいろいろさせていただいていますが、正式にそれを受けてということになると思います。

また、オランダとの交流についていうと、もう一個、今年度末までにオランダのウォーキング団体と共同して、一緒にウォーキングイベントを実施することも予定しておりますが、そういったことも併せて検討していきたいと考えております。

○日本経済新聞

まだ明確に決定したわけではないという中で、恐縮なのですが、県内のほかの自治体で中止を申し入れたケースの理由の一つとして、陽性者が出た場合に医療関係者の確保というのが必要になってきて、それがちょっと現状難しいのではないかという判断で中止をされたという話を聞きました。

キャンプが実施されるのは、多分7月ぐらいになるかと思うのですが、その時期というのはワクチンの高齢者の方の接種がすごく多い時期で、医療関係者の皆様を確保するのもなかなか難しいのかなと思うのですが、この辺りはどういう体制を築きたいと思われているのかお考えをお聞かせください。

- 市長 すごく大切な時期にぶつかる可能性があると思いますので、その中で、現時点では残念ながらまだ出場権を得ていないので、その前の段階、事前の正式な話ではないレベルではいろいろと話をさせていただいておりますが、それが明らかになった段階で調整していくことになると思います。

ただ、先ほども申し上げましたけれども、まず市民の安心安全を守る、命、健康を守ることが最優先であると思っておりますし、その中でやはりもちろんオリンピックに来られる皆さん、あるいは出場される皆さんの安全、あるいは健康、命を守るということも、当然私たちにとっては大変重要なことですので、それらを受ける際のキャパシティの問題なども含めて、十分踏まえた上で協議して決定していきたいと思っております。

その他：高齢者施設等におけるPCR検査実施状況について

- 時事通信 時事通信社です。
- 現在さいたま市のほうで、高齢者施設に対してPCR検査を実施されているかと思うんですけども、実施率、受検率のほうを教えてくださいです。
- 市長 もしよろしければ、後ほどでもいいですか。
- (会見後資料提供：令和3年度PCR検査実施率（6月2日現在）
高齢者施設：49%、障害者施設46.2%)
- 時事通信 はい。その関係で、県のほうの資料ですと、先月の5月の12日時点で、さいたま市のほうのPCR検査の受検率のほうが22%ほどということで資料をいただいているんですけども、他市、川越、越谷、川口、中核市ですけれども、それらの自治体よりかなり数字が低いと思われるんですけども、この5月12日時点の数値ではありますけれども、受け止めをいただけますか。

- 市長 今回、まん延防止等重点措置の延長が決まった際にも、県からも高齢者施設へのPCR検査への対応なども、県の中の重点施策の中に含まれておりましたので、再度こういった高齢者の施設向けに手紙を出し、また電話などで勧奨を行って、実施を呼びかけているところです。
- さいたま市としても、当初のやり方が少し使い勝手が悪かったところもあったと思いますが、今は比較的使いやすい、施設側も利用しやすい環境になっていると思いますので、併せてこの勧奨についても努めていきたいと考えております。
- 時事通信 現状ですと、施設側の申込みを受けてPCR検査の実施という流れだと思えますけれども、今後の強化策というか、対応としては市側から積極的な呼びかけを行っていくと、今後はそういったものを継続して行っていくという理解でよろしかったですか。
- 市長 そうですね。
- あとは、もう一つ申し上げると、現状として違う財団からの補助でやっている施設などもあります。いずれにしても実態把握とその勧奨と、両方しっかりやるようにということで、指示を既に出していますので、やはり高齢者施設でのPCR検査の拡充をしっかりとやっていくということが、重症化あるいはクラスター化を防ぐ大変重要なポイントの一つだと思いますので、強化していきたいと思っています。
- 事務局 5月21日現在の検査の実施率ですけれども、高齢者施設が40.6%でございますので、あと障害者施設の従事者へのPCR検査も実施しておりますので、こちらのほうが38.8%です。その後も、今市長からお話ししていただいたように各施設への働きかけ、通知等も出しながら、また個別に話をしながら受検率の上昇については進めているところです。
- 時事通信 最後に、先ほどいただいた40.6%、あと38.8%という数字、これは低いとお考えですか。
- 市長 そうですね、低いと思います。
- 時事通信 今後呼びかけで、その率は上がるとお考えですか。
- 市長 上げてもらいたいと思っています。
- テレビ埼玉 ないようでしたら、どうもありがとうございました。
- 以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

- 進 行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。
- なお、次回の開催は6月23日、13時30分からを予定しております。
- 本日はありがとうございました。

午後 3時15分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。